

テクノスの秘水について

最近、中国の代理店希望者から多くの質問が来ており、その回答をまとめたものです。ご質問などありましたらお待ちしております。

水素ガス添加の水素水及び電気分解による水素水について

電子エネルギーのない水素ガスを水に混入させたアルミパウチ入り水素水もアルミ缶入り水素水も、充填後に殺菌していますので、シール製の悪いキャップから水素ガスが流出し、実際にはほとんど水素は含有していません。

少量残留していたとしてもキャップを開栓したら瞬時に水素ガスはゼロになります。

結論からいうと、効果は殆ど期待出来ません。

また、殺菌の時にアルミが溶け出し、アルツハイマーの心配もあります。

水素ガス添加の水素水及び電気分解の水素水

とテクノスの水素水の製法とは全然違います。

奇跡の泉のフンザ水の研究で有名な米国のフナ

ナガン博士の製法と同一です。フナナガン博士の

技術情報はインターネットで公表されています。

(フンザ水のHPアドレス)

<http://urx.mobi/zu9n>

テクノスの秘水はナノコロイド水素水

テクノス社のパテントの活水装置により、セラミックボールの主成分のカルシウムとケイ素がナノコロイド化し、活水装置の磁石で磁気を与えられたナノコロイドが体内で水に溶解した時に活性水素が発生します。高速で水を循環させると、

セラミックボール同士が相互に摩擦しあって、ナノコロイド粒子（100万分の1ミリ粒子）が発生するのです。



富士山の秘水



龍泉洞の秘水



奥長良川の秘水

タンクにセラミックボールを入れて置いただけでは、ナノコロイド粒子は発生しません。生のシリカは水に溶解しやすいがシリカの粒子は大きいので内容液は濁り味は良くありません。

類似品としては水素水スティック方式がありますが、有機物が付着しており味がよくありません。ボトル内で水素発生は確認できませんが開栓すると水素ガスはすぐに気化します。

最後に水素発生剤のケイ素・カルシウムの錠剤がありますが、錠剤の粒子は粗いので細胞に吸収されにくいのです。

結論は効果があったかどうかが大切です。従って論より証拠で確認するしか検証できません。